

令和7年度 事業報告

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日



1. 概要

日本救急救命士会は、定款第3条において、「救急救命士が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき、救急医療の質の向上を図るとともに、国民の幸福を追求し続けられる環境づくりを推進し、社会のあらゆるニーズに応える救急救護領域の開発と展開を図ることにより、国民の安全と安心に寄与することを目的とする。」と定めている。定款第4条において、目的を達成するために以下の事業を実施することとしている。

- (1) 救急医療の質の向上に関する事業
- (2) 救急救命士の教育と研修に関する事業
- (3) 職業倫理の向上に関する事業
- (4) 救急救命士制度への提言に関する研究事業
- (5) 救急救命士相互の職域を支援する事業
- (6) 救急救命士の就職支援に関する事業
- (7) 公共福祉の向上に関する事業
- (8) 他の医療従事者との連携事業
- (9) 学術研究の振興に関する事業
- (10) 救急救命士の国際交流に関する事業
- (11) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

定款に定めた目的および事業を達成するため、各種会議、委員会活動、発信活動等を実施した。

2. 組織の状況

① 会員数 (2025年3月31日時点)

- 正会員 524名
- 名誉会員 1名
- 賛助会員 8団体

② 評議員

- 総数 148名
- 任期 2024年8月13日から2027年度決算に関する定時社員総会まで

③ 役員

- 理事 17名
- 任期 2024年9月8日から2025年度決算に関する定時社員総会まで
- 監事 3名
- 任期 2024年9月8日から2027年度決算に関する定時社員総会まで

3. 会議実績

① 評議員会（社員総会）（定款第 20・21 条関連）

- 2025 年度 定時評議員会 2025 年 6 月 7 日 Web 開催
議事事項（全て承認）
 - ・ 令和 6 年度 決算報告・監査報告・収支報告
 - ・ 令和 7 年度 予算案
 - ・ 令和 7 年度 事業計画

- 2025 年度 臨時評議員会 2025 年 12 月 20 日 Web 開催
議事事項（全て承認）
 - ・ 定款（定款細則）の改正について（評議員上限数の見直し）

- 2025 年度 臨時評議員会 2026 年 1 月 19 日 Web 開催
議事事項（全て承認）
 - ・ 第一期評議員追加選出者について
 - ・ 新規入会に関する 2026 年度特例措置について

② 理事会(定款第 34・35 条関連)

- 2025 年度 通常理事会 2025 年 6 月 7 日 Web 開催
議事事項（全て承認）
 - ・ 令和 6 年度 決算報告・監査報告・収支報告
 - ・ 令和 7 年度 予算案
 - ・ 令和 7 年度 事業計画

- 2025 年度 臨時理事会 2025 年 9 月 27 日 対面 Web ハイブリッド開催
議事事項（全て承認）
 - ・ 救急救命士の集い 2026 開催地について
 - ・ 賛助会員入会について
 - ・ 民間救命士統括体制認定機構（PMO）への理事派遣依頼について
 - ・ 全国救急救命士教育施設協議会（JESA）への賛助会員入会について
 - ・ 日本病院会「救急・災害医療対策委員会」委員推薦依頼について
 - ・ 役員の地域担当決定について
 - ・ 委員会規程について
 - ・ 後援規定について
 - ・ 医療搬送安全対策ワーキンググループの設置について
 - ・ 第 24 回日本睡眠歯科学会総会学術集会 BLS 協力について
 - ・ オンラインセミナーにおける医療系学生以外の学生・生徒の申込について
 - ・ 医療搬送安全対策講習会の講師費用について別途規定設置

- 2025年度 臨時理事会 2025年12月20日 Web開催
議事事項（全て承認）
 - ・定款の改正について（評議員上限数の見直し）
 - ・後援等名義使用申請書添付書類の改訂について
 - ・イベント謝金規程の新設について
 - ・学会バンクへの移行について

- 2025年度 通常理事会 2026年3月9日 Web開催
議事事項（全て承認）
 - ・救急救命士の集い 開催規定(案)について
 - ・研究倫理審査委員会設置について
 - ・法人クレジットカードの作成について

4. 活動実績（当会主体業績）

2025年4月26日	(一社)民間救命士統括体制認定機構主催 「第4回 医療機関に勤務する救急救命士のための就業前研修会」にて講演・協力
2025年9月27日	周年企画 「救急救命士の集い 2025 in 名古屋」
2025年10月12日	第11回日本救急救命学会学術集会 後援団体として協力
2025年10月6日	研究倫理綱領、救急救命士が行う研究に関する倫理指針、救急救命士の研究活動上の行動規範 策定 (学術・研究倫理委員会)

5. 活動実績（他団体からの派遣等の依頼）

日付	内容	担当者
2025年4月5日	学校法人朝日大学「保健医療学部救急救命学科」開設記念式典へ出席	喜熨斗 智也 植田 広樹
2025年4月13日	フジテレビ情報番組「Mr.サンデー」放映 AED事例再現ドラマ監修	北原 学
2025年8月6～7日	令和7年度 厚生労働省 こども霞ヶ関見学デー 出展協力	宮崎 伊佐夫 加藤 渚
2025年10月13日	第24回日本睡眠歯科学会 総会・学術集会 BLS講習セッション	大石 奨
2026年4月3日	TBC学院 入学式 来賓	喜熨斗 智也

2026年5月7日	厚生労働省 地域における医療従事者の安定的な養成・確保に関する検討会 構成員	喜熨斗 智也
-----------	--	--------

6. 活動実績（講演等の依頼）

日付	名称	担当者
2025年4月26日	(一社)民間救命士統括体制認定機構主催 第4回 医療機関に勤務する救急救命士のための就業前研修会	喜熨斗 智也
2025年7月24日	第3回関西・北陸地域病院救急救命士意見交換会	福岡 範恭
2025年8月30日	第3回静岡県救急救命士部会	植田 広樹
2025年10月12日	第11回日本救急救命学会学術集会 日本救急救命学会 日本救急救命士会 合同シンポジウム ”救急救命士が行う研究のシンカ”	萱沼実 一ノ瀬佳彦 中川洸志 北野信之介 黒崎久訓
2025年11月8日	第28回日本救急看護学会学術集会 パネルディスカッション2 医療機関に所属する救急救命士「どこまで看護師と救急救命士は協働しているのか」	喜熨斗 智也
2025年11月22日	富山県下救急救命士会 30周年記念講演	福岡 範恭
2026年2月24日	第4回関西・北陸地域病院救急救命士意見交換会	福岡 範恭

7. 活動実績（会員向けオンラインセミナー）

開催日	セミナー内容	演者
2025年4月20日	医学史と過去の研究不正から学ぶ救急救命士にとって必要な研究倫理	一ノ瀬 佳彦 氏 (日本救急救命士会 理事/ 岸和田市消防本部)
2025年5月30日	医療機関に所属する救急救命士の真価	沼田 浩人 氏 (日本病院救急救命士ネットワーク 幹事/ 日本救急救命士会 理事/ 日本医科大学多摩永山病院)
2025年7月25日	病院間の転院搬送を考える	渡部 圭介 氏 (高崎総合医療センター/ 日本病院救急救命士ネットワー

		ク) 新井 勘太 (埼玉石心会病院/ 日本救急救命士会)
2025年8月7日	5年ぶりの改訂！救急救命士標準テキストの改訂内容と今後	大野 健二 氏 (東海医療工学専門学校/ 全国救急救命士教育施設協議会 国家試験対策委員会 委員長)
2025年9月4日	言葉の壁だけじゃない！明日から使える外国人対応	佐伯 壮一郎 先生 (国立国際医療センター病院 救命救急センター 医師)
2025年10月28日	災害時の病院救急救命士の役割	向井 亮裕 氏 (社会医療法人陽明会 小波瀬病院 災害医療対策室 救急救命士・日本 DMAT 隊員インストラクター)
2025年11月27日	臨床工学技士に学ぶ！除細動器・ベッドサイドモニターの日常点検のポイント！	高橋 純子 氏 (京都橘大学健康科学部臨床検査学科 臨床工学技士・看護師)
2025年12月2日	そもそも災害医療とは	高橋 昌 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野 特任教授)
2026年1月29日	現場で迷わない小児病院前救護 - PPMEC が築く新たな教育のかたち	問田 千晶 先生 (信州大学医学部医学科救急集中治療医学)
2026年2月27日	救急医が求める救急救命士に必要な「救急現場臨床推論」	山本 康之 先生 (ばば脳神経外科・救急科・健診クリニック 副院長)
2026年3月27日	医療機関への収容交渉を変える：情報共有のギャップを埋めてみよう	一柳 保 氏 (高野町消防本部 救急救命士)

8. 活動実績 (各種セミナー等)

日付	セミナー名・活動内容	担当委員会・担当者
2025年10月11日	第1回医療搬送安全対策講習会	救急救命処置委員会：

		医療搬送安全対策ワーキンググループ
2025年12月12日	第2回医療搬送安全対策講習会	救急救命処置委員会： 医療搬送安全対策ワーキンググループ
2026年1月25日	第3回医療搬送安全対策講習会	救急救命処置委員会： 医療搬送安全対策ワーキンググループ

9. 活動実績（後援）

日付	イベント名	主催	会場
2025年10月12日	第11回日本救急救命学会 学術集会	（一社）日本救急救命学会	国土舘大学世田谷キャンパス （東京都世田谷区）
2025年11月1日	第13回 12誘導心電図伝送を 考える会	12誘導心電図伝送を考える 会	エスポワールいわて （岩手県盛岡市）
2026年2月8日	夢発見プロジェクト お仕事体験フェスタ 2026	夢発見プロジェクト お仕事体験フェスタ事務局	ライトキューブ宇都宮 大ホール （栃木県宇都宮市）

10. 活動実績（メディア出演）

出演日	内容	出演者
2026年2月15日	雑誌「近代消防 3月号」 ・日本救急救命士会 会長 喜熨斗 ・神奈川県知事 黒岩祐治氏 ・TXP Medical 株式会社 大西裕氏 の鼎談記事が掲載	喜熨斗 智也
2026年2月17日	医薬経済社からアナフィラキシー治療薬「ネフィー点鼻液」に関する取材協力	喜熨斗 智也
2026年3月10日	雑誌「近代消防 4月号」に、 ・日本救急救命士会 会長 喜熨斗 ・神奈川県知事 黒岩祐治氏 ・TXP Medical 株式会社 大西裕氏 との鼎談記事が掲載	喜熨斗 智也

11. 委員会活動実績

定款第4条で定めた事業を達成するため、以下の8つの委員会活動を実施した。

<総務委員会>

概要	事務局と連携し、本会における総務全般、財務経理を担当し、各委員会の事業を支援する。さらに会員情報の管理、福利厚生、表彰及び他団体との情報交換等の事務業務を担当する。また、救急救命士の職域における課題やニーズを分析し、他の委員会と連携しながら将来に向けての計画を検討し、事業立案を行う。
委員	○植田 広樹、○○中川 貴仁、中川 貴仁、水本 花子、中島 秀明、大滝 達也、井上 拓訓

◎委員長 ○担当理事

本 年 度 事 業 報 告	<p>委員会開催回数：12回（全 Web 会議）</p> <p>2025 年度委員会活動</p> <p>①各種規定の制定に関して 原案作成し理事会に上程し審議提出 （委員会規程/本会後援規程/謝金規程/新規入会特例措置/弔慰規程/表彰規程/旅費規程）</p> <p>②救急救命士の集い 2025 2025/9/27(土) 13:00-17:00 愛知県名古屋市 開催</p> <p>③本会広報啓発ブース設置 全国救急隊員シンポジウム/日本臨床救急医学会学術集会/日本救急救命学会学術集会</p> <p>④学業優秀賞 選出依頼集計/表彰物品発送業務</p>
---------------------------------	---

<学術・研究倫理委員会>

概要	日本救急救命士会は、その事業の一つに、救急救護領域の学術に関する事業を掲げている。学術に対する綱領、救急救命士が行う研究に関する倫理指針、研究活動上の行動規範を定め、救急救命士が教育・学術・研究の研鑽に根ざした専門性に基づき、救急救護領域の質の向上を図ることを目的に、専門的知識や技術の進歩と開発に努め、救急救護領域の発展に寄与していく。
委員	○一ノ瀬 佳彦、○萱沼 実、◎中川 洸志、匂坂 量、皆藤 竜弥、黒崎 久訓、田中 翔大、都城治、守岡 大吾、松山 千恵美、北野 信之介

◎委員長 ○担当理事

本 年 度 事 業 報 告	<p>I. 概要</p> <p>一般社団法人日本救急救命士会 学術・研究倫理委員会は、救急救命士の学術基盤を構築し、質の高い救急救護の実現に寄与するため、短期、中期、長期の事業計画を策定し、段階的に実施している。</p>
---------------------------------	--

<p>短期計画（1年目）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理綱領、研究倫理指針、研究活動上の行動規範の策定と公開 2. 救急救命士学術ウェビナーの開催 3. 救命士向け論文解説ページの運用 4. 倫理委員会設置に向けた準備 <p>中期計画（2-5年）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理委員会の開設 2. 救命士学術ウェビナーの拡充 3. 日本救急救命士会シンポジウムの開催 4. 委員会主導研究の実施 5. 研究者マッチング制度の運用 6. 他職種および海外職能団体との交流 7. 学術奨励賞の導入 <p>長期計画（5年以上）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理委員会の拡充 2. 課題研究助成制度の運用 3. 大規模多施設共同研究の推進 4. 「救命士イノベーションチャレンジ」プログラム(仮称)の導入 5. 救命士学術奨励基金の設立 <p>II. 令和7年度に実施した事業</p> <p>令和7年度に実施した事業は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究倫理綱領、研究に関する倫理規範、研究活動中の行動規範の策定 救急救命士が研究を行う上で道徳的な規範となる研究倫理綱領、研究に関する倫理規範、研究活動中の行動規範の三文書を策定し、当会のHP上にて公開した。 2. 日本救急救命学会とのコラボレーション企画 第11回日本救命救急学会学術集会日本救急救命士会・日本救急救命学会合同企画 「パネルディスカッション 救急救命士が行う研究のシンカ」パネリストとして複数の委員が登壇した。 3. 倫理委員会設置に向けた準備 倫理委員会設置に向け、他学協会の倫理委員会の運用事例の調査、必要な規約や運用体制の策定、倫理審査申請書フォーマットの作成を行った。 4. 事業計画遂行のための会議 事業計画を遂行するため、合計4回の会議を実施した。

<教育・研修・多職種連携委員会>

概要	救急救命士の専門性向上を目的とし、教育プログラムの作成と実施、臨床実習の質向上に向けた指導者のためのガイドラインの作成、他の委員会と連携したより効果的な教育企画の実施等を行う。また、多職種連携の推進として、救急救命士が活動する様々な現場における役割の明確化や各現場に適した多職種連携モデルの構築等に取り組んでいく。
委員	○三上 剛人、○○大石 奨、長橋 和希、齋藤 汐海、三本 健志、大野 健二 藤島 璃々子、向井 亮裕

◎委員長 ○担当理事

本年度 事業 報告	委員会開催回数：6回（Web会議6回） 2025年度委員会活動 1. 教育研修について ①オンラインセミナーの企画運営 ②教育研修設計セミナーの企画、プロトタイプ試行会開催 ③救急救命士の集い 第2部「各機関に所属する救急救命士の教育実践事例検討」企画 2. 多職種連携について ①会員への多職種連携意識調査アンケート ②連携すべき職種・分野の検討
-----------------	--

<広報・キャリア支援委員会>

概要	SNS やマスメディアを活用して、本会の使命・役割や活動実績の広報をすることで認知度の向上を図るとともに、救急救命士に対する社会的理解を浸透させ専門性の向上を図る。また、救急救命士の就職・転職や職場復帰に関する課題と解決策について検討し、会員の希望に沿ったキャリア形成の推進を図るための機会や充実したサポート体制の構築を実現する。
委員	○津波古 憲、○○長谷川 汐里、鳴海 圭佑、木下 拓也、島 伶弥、宮部 泰直 加藤 明仁、柳 聖美

◎委員長 ○担当理事

本年度 事業 報告	委員会開催回数：5回（全Web開催） 10/26、11/10、12/19、1/20、3/27 2025年度委員会活動 ①委員会体制の強化およびタスク管理の標準化について ▷担当理事の負荷軽減と運用円滑化のため、体制および管理フローを刷新 新体制の構築：委員1名を「委員長代理補助」に指名し、指示出しやタスク管理のサポート、
-----------------	--

<p>定期 MTG を月 1 回を目標に開始。</p> <p>プロセスの標準化：指示出しテンプレートの導入、役割の 2 人体制（バックアップ制）への再編、タスク管理シートの修正・再設計を実施。</p> <p>②各種イベントおよび外部連携の広報実績について</p> <p>▷効率的な運用フローを確立し、各種セミナーや広報活動を迅速に実施</p> <p>PR TIMES の運用：過去記事のテンプレートにより作成を効率化。非営利団体サポートの無料期間更新を完了（10/27）。</p> <p>広報・周知実績：定期オンラインセミナー（毎月）、議員連盟総会出席、学業優秀賞、タイ救急救命士会会長面会等の広報（SNS・メール・プレスリリース）等を配信。</p> <p>運用ルールの明確化：関係機関への掲載確認は「初回のみ」とし、JESA や日本救急救命学会への会員メール周知フローを定型化など。</p> <p>③オンデマンド配信動画の編集について</p> <p>▷過去のセミナー動画のアーカイブ配信対応</p> <p>動画編集実績：第 10 回（災害時の役割）、第 11 回（日常点検のポイント※一部削除対応あり）、第 12 回（災害医療とは）の編集・書き出しを行い、共有フォルダにて配信対応を完了。</p> <p>④2025 年度国家試験応援セミナーの企画・運営について</p> <p>▷教育・研修・多職種連携委員会との合同による、受験生向けオンラインセミナーを企画・構築</p> <p>開催概要：2026 年 2 月 23 日（月・祝）開催。会長挨拶、解説、国試クイズ大会、入会案内等の 120 分プログラム。</p> <p>運用の工夫：各学校から国試問題の提供を受ける形式を検討。AI（NoteBookLM）を活用したクイズ問題集の自動作成や受講者向けプレゼント企画を導入。</p> <p>⑤キャリア支援事業の構築および需要調査について</p> <p>▷今後の具体的な活動方針の策定と、次世代の委員会増員体制について検討</p> <p>事業方針の策定：対象を「全ての救急救命士資格者・学生」とし、キャリア相談室の設置や他領域での研究発表、生涯教育ポイントに連動する事業等を検討。</p> <p>需要調査（アンケート）：ニーズを把握するため、2 月中を目標に Google フォームによるアンケート骨子を作成。結果に応じて各種 WG（ワーキンググループ）の設置を検討。</p> <p>会員リクルート体制：入会フォームに「興味のある委員会」の任意項目を追加し、入会と同時に委員会候補者を募集・把握できる仕組み作りを検討。</p> <p>⑥次年度予算（案）について</p> <p>▷委員会運営に必要なツール予算を計上</p> <p>予算案：Canva プロ利用料 11,800 円/年。</p>
--

<職業・専門職倫理委員会>

概要	救急救命士の専門性を向上させ社会に対する信頼性を確立するため、救急救命士が活躍するあらゆる現場において遵守すべき専門職の倫理基準を策定し、救急救命士に与えられた社会的責任を果たすための行動指針を明示することを目的とする。併せて、救急救命士の専門職倫理に基づく適正な現場活動を確保するため、専門職としての実践ガイドラインを策定する。
委員	◎澤田 仁、眞野 一樹、長谷川 瑛一、郷田 爽真、久保田 竜也

◎委員長 ○担当理事

本 年 度 事 業 報 告	<p>1. 救急救命士の倫理綱領策定・公表（4/23） 救急救命士の倫理綱領を策定し、日本救急救命士会ホームページに公表した。</p> <p>2. 各職域における実践ガイドライン（案）の検討 各職域における実践ガイドライン（案）を検討するためのアンケートを実施した。 作業部会の設置に向けた検討を行った。</p>
---------------------------------	--

<救急救命処置委員会>

概要	救急救命処置の技術の向上および質の高い救急活動が安全、確実かつ円滑に行われるよう、救急救命処置に関する研究やデータ収集を通じて、救急救護領域の発展に寄与することを目的として活動を行う。また、救急救命士を取り巻く現状の課題を抽出するとともに、新たな救急救命処置、および対象等の拡大・変更の議論に対して、関係省庁・機関と協力関係を築き、提言を行い、国民の生命を守るために救急救命士の職能向上に努めるための活動を行う。
委員	○沼田 浩人、○吉井 友和、◎林 智貴、安達 颯太、野口 佐弥香、高田 康平 高橋 和也、鈴木 健介、川崎 知美

◎委員長 ○担当理事

本 年 度 事 業 報 告	<p>委員会開催回数：15回（Web会議15回、その他はSNS上での稟議及び情報共有）</p> <p>2025年度委員会活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 処置拡大に関するデータ集積 2 座談会の開催（Web）7月19日（土） 3 救急救命処置（処置拡大など）に関する職種別アンケート作成 4 医療搬送安全対策講習会の開催（4回開催） 5 第11回日本救急救命学会で発表
---------------------------------	--

<災害・公共福祉委員会>

概 要	地震、台風等の災害により生じた傷病者を救護する救急救命士の役割は重要であり、その期待は大きい。本委員会は、近年の激甚化する大規模自然災害等に対して、様々なフィールドで活動する救急救命士の役割、業務内容、災害支援等について検討し、関係する各種団体と協力し、活動を行う。また、公共福祉を高めるため、各種行事における救急救護の普及啓発等、公益目的事業の推進についても併せて検討を行う。
委 員	○宮崎 伊佐夫、◎小田 浩文、本田 茂人、丹羽 一晃、尾中 秀行、廣田 恵典、高橋 貴美 小松 義孝、堀越 涼平、小森 一稀、竹内 一之、小森 健史、加藤 渚

◎委員長 ○担当理事

本年度 事業 報告	<p>委委員会開催回数：Web 15 回（全体 5 回・小委員会 4 回、その他 5 回）</p> <p>2025 年度委員会活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和 7 年度「こども霞が関見学デー」協力 令和 7 年度・第 11 回日本救急救命学会 学術集会併設セミナー 「災害時における多機関連携医療搬送勉強会」開催
-----------------	--

<国際委員会>

概 要	本会の関連する委員会と協力し、世界中の救急医療に関する知識や技術の共有、国際的なガイドライン策定や研究への参画、そして海外の救急救命士職域団体との連携を図る。また、国際会議への参画や海外等研修プログラムを通じて、日本の救急救命士の国際的な地位向上とネットワーク構築を目指し、本邦の救急救命士の資質向上に寄与する。
委 員	◎◎菊地 誠二、原 貴大、三芳 智伸、木村 龍、森下 優似、若松 淳

◎委員長 ○担当理事

本年度 事業 報告	<p>委員会開催回数：3 回（Web 会議）</p> <p>2025 年度委員会活動</p> <ol style="list-style-type: none"> カンボジアにおける医療技術等国際展開推進事業に参加 世界各国において今後の救急救命士会としての連携について情報収集 および調整等実施（米国、オーストラリア等） タイ救急救命士協会と今後の連携や MOU 締結に向けた協議を実施
-----------------	---

以上